

令和 7 年度入学試験問題（学校推薦型選抜 I）

## 小 論 文

農学部 亜熱帯生物資源科学科

### 注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

## 非公開

(産総研マガジン「バイオものづくりとは?科学の目でみる, 社会が注目する本当の理由」  
国立研究開発法人産業技術総合研究所, 2023/04/12, 抜粋,  
[https://www.aist.go.jp/aist\\_j/magazine/20230412.html](https://www.aist.go.jp/aist_j/magazine/20230412.html), 閲覧 2024/09/12)

- 問 1. 沖縄県の亜熱帯島嶼性という特性をバイオものづくりにどのように役立てることができるか, あなたの意見を 400 字から 600 字以内で記述しなさい。
- 問 2. 生物資源を利用する必要性が高まっていますが, 下線部に示す課題が障壁となっています。この問題をどの様に解決するか, あなたの意見を 400 字から 600 字以内で記述しなさい。

# 令和7年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

## 小 論 文

### 農学部 亜熱帯生物資源科学科

#### 出 題 の 意 図

農学部の教育理念は、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然環境条件及び歴史的・文化的特性を活かし生物の生存環境と人間の共生を目指して、持続的食料生産、地域農業、環境保全、生物資源・エネルギー利用、栄養・健康・長寿及び発酵・生命に関する専門教育と研究を深化させ、その成果の蓄積・活用と人材育成によって、地域社会並びに国際社会の発展に貢献することを目的とする。

本学科のアドミッション・ポリシーは、沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身につけ、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人を求めている。具体的には、生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人、健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味を持つ人、発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人を挙げている。

バイオものづくりは、生物由来の素材や生物を用いてものづくりを行うことであり、古来より行われてきた微生物本来の能力を用いる発酵にとどまらず、遺伝子工学やゲノム編集などの技術を用いて、必要とする物質の生産のために微生物などの能力をデザインすることも含むため、本学科の扱う内容と密接な関係がある。問1では、亜熱帯島嶼環境下にある本学科でこそ取り組むべき課題を見つけ、これを解決するための知識や発想力を測る。問2では、バイオものづくりの課題を問うことにより、本学科で学ぶことによって得られる知識の活用について自らの意見を論理的に組み立てられるかを測る。